とんぼ通信１５４号

９月号
とうぼ小児科医院
臼杵市港町東１４組　TEL63-5811
HP ｱﾄﾞﾚｽ　http://www.tobobaby.com
発行責任者：　東保　裕の介
発行年月　：　平成２９年９月

RSウィルスが早くも流行！　しっかり対策を！

今年は例年になくＲＳウィルスが早く流行しはじめています。代表的な乳幼児の呼吸器感染ですが、もう一度どのような病気か確認してみましょう。今回はＲＳウィルス感染症のお話しです。

Q1. どんなウィルスですか？

ＲＳウィルスは乳幼児期に上気道炎、気管支炎や肺炎を起こす呼吸器感染ウィルスです。１歳までに半数が、２歳までにほぼすべての子供がこの病気を経験します。大人になっても繰り返し感染しますが、特に６か月未満の乳児にかかると重症化しやすいので注意が必要です。

Q2. どのような症状がでますか？

ウィルスに感染して４～６日くらいの潜伏期間ののちに、熱と咳、鼻汁がでます。初めてかかると38度前後の熱が５日ほどつづきます。乳幼児では、次第にゼイゼイ(ヒューヒュー)といった呼吸や、呼吸困難の症状（呼吸の際に肋骨の間やお腹まわりがへこむ）が現れることがあります。咳、ゼイゼイの症状は１週間～長いと２週間ほど持続します。

Q3. いつごろ流行りますか？今年のＲＳウィルス感染症の発生状況は？

秋から冬が流行期で、例年１０～１１月ごろ流行が始まり１月ごろにピークを迎えます。全国的にここ数年は流行の開始が早まる傾向にあります(右下図参照)。今年は２０１５年と同様に流行の開始が早く、９～１０月は注意が必要です。

Q4. 診断は？

鼻からの迅速検査で約１５分で診断ができます。
無料：１歳未満とシナジス適応の児（※）
有料：１歳以上の児（１５００円）

シナジス適応の児とは

ＲＳウィルスにかかると重症化しやすい早産児や慢性肺疾患・先天性心疾患・免疫不全の児のこと。

シナジスとは

ＲＳウィルスの流行期間中に毎月、筋肉内注射することで重篤な合併症を予防するための注射薬のこと。

Q5. 治療は？

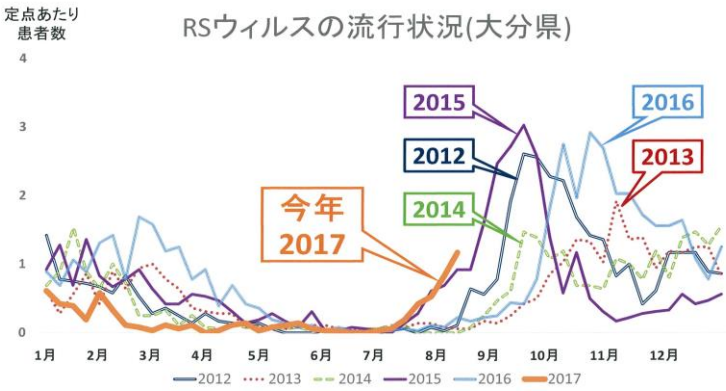
ワクチンや特効薬はありませんので、症状を抑える治療が中心です。気管支を広げる薬を内服・吸入します。6か月未満で呼吸困難が強いときは、入院が必要になる場合があります。

Q6. 感染予防は？

咳で飛び散ったり、手指に付着したウィルスによって感染するので、マスクの着用、手洗い・手指消毒が基本的な予防になります。小さなお子さんがいる家庭では周りの家族が持ち込まないようにするのが大事です(咳が出る子はマスク着用で他の子にうつさないようにしましょう)。

Q7. 保育園や学校での出席停止は？

熱が下がって、咳が落ち着いてくれば登園・登校してかまいません。激しい咳込みがあるときは登園を控えましょう。

ホームケアのアドバイス

★こまめな水分補給を。食欲がないときも、まずは水分をしっかり。
★湿度は 60%くらいを目安に。適度な湿度は鼻水、痰が通りやすくなります。
★ゼイゼイがあるときは、すこし上半身を起こした姿勢にすると呼吸が楽になります。
★高熱できつそうなときは、わきの下、首筋、太もものつけねなどを小さな保冷剤で冷やして。